

第98期 中間報告書

平成27年4月1日から平成27年9月30日まで



トップインタビュー

商品調達機能・物流機能強化に注力し、
「コンプライアンスと安定収益の確保」
に努めてまいります。

伊藤忠食品株式会社

証券コード：2692



商品調達機能・物流機能強化に注力し、「コンプライアンスと安定収益の確保」に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、日頃より当社事業への厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

平成28年3月期第2四半期累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)の事業概況をご報告し、通期の見通しについてご説明させていただきます。

平成27年12月

代表取締役 社長執行役員

星 秀一

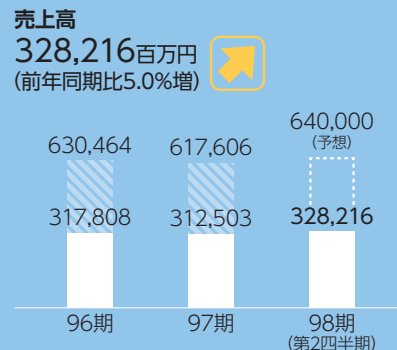
企業理念

常に時代の変化と要請を先取りし、健康で豊かな食生活創りを通じて消費者と社会に貢献します

経営ビジョン

卸機能日本一のグッドカンパニーになる

連結決算ハイライト (単位:百万円)





当第2四半期の取り組みと 経営成績についてお聞かせください。

食品流通業界では、消費増税後の消費マインドに持ち直しが見られるなど、明るい兆しが出てきていますが、輸入原材料の高騰、人手不足によるコストの上昇など、依然として厳しい状況が続きました。

そうした中で当社グループは、引き続き「コンプライアンス」と「安定収益の確保」をミッションに掲げ、卸としての価値の創造にチャレンジし、新しい商品の発掘・開発、企画提案力の向上に取り組みました。

当第2四半期の営業状況は、優良顧客との取引深耕による組織小売業との取引増加などにより、売上高は3,282億16百万円(前年同期比5.0%増)を確保しまし

た。商品分類別では、概ね夏場の取引が好調で、「ビール」「嗜好・飲料」の販売がそれぞれ806億65百万円(同3.7%増)、799億74百万円(同11.3%増)となりました。

利益面では、物流費の増加などにより、販売管理費は前年同期比8億32百万円増加しましたが、取引拡大、物流関連での採算改善への取り組みなどにより売上総利益を前年同期比9億5百万円の増加することができ、営業利益が15億57百万円(同4.9%増)、経常利益が19億37百万円(同0.6%増)と増益を果たしました。親会社株主に帰属する四半期純利益は特別損益の減少により11億89百万円(同7.9%減)にとどまりました。

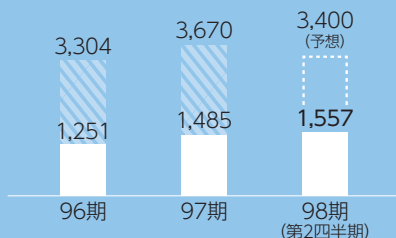
以上の実績は、期初の計画数値を上回る結果となりました。

■第2四半期 ■通期

詳細はP7-8をご覧ください。▶▶▶

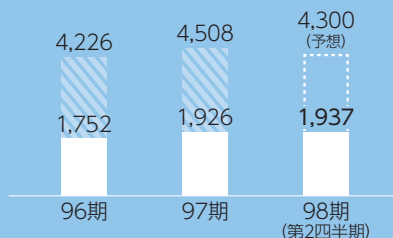
営業利益

1,557百万円
(前年同期比4.9%増)



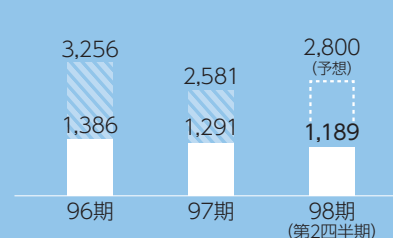
経常利益

1,937百万円
(前年同期比0.6%増)



親会社株主に帰属する四半期純利益

1,189百万円
(前年同期比7.9%減)





価値ある商品の発掘・調達・提案力強化に向けてどのような取り組みを進めていますか？

当社グループは、商品調達機能の強化に向けて、全国各地の価値ある商品をクローズアップする「地域産品プロジェクト」に注力しています。その一環として、発掘した商品を「おいしい」「自信をもっておすすめしたい」を基準に厳選する「ISCベストセクション」を企画し、営業ツールとしてカタログにまとめています。現在、地域産品のニーズが高まってきており、当社グループ独自の品揃えを打ち出すべく商品の発掘を進めていきます。

また、年々拡大するビューティー&ヘルス市場への新たなアプローチとして、「オーガニック&ナチュラルfor Beauty」をコンセプトに商品調達・提案に取り組んでい

ます。独自に調達したココナッツオイルの売上は、昨年12月の発売から10ヵ月累計で2.1億円の売上となりました。今後もスーパーフードや食べるコスメオイルなど、海外で注目されている商品を独自ルートで日本に調達し、市場のニーズに応える商品の供給・販売企画を展開していく予定です。

質を重視する消費者をターゲットとした取り組みとしては、外食企業などとの「ブランド商品の開発」に注力しています。「紅虎餃子房」ブランドの餃子セットや「モスバーガー」ブランドのヘルシーな中華まんなど、堅調に販売実績を上げており、引き続き提携ブランドとアイテム数を拡充していきたいと考えています。

この他にも、前期に業務提携した株式会社アイケイの健康志向のオリジナル商品や、個食、プレミアム需要に対応するオリジナルギフトの提案等を進めています。



物流コスト増への対策についてご説明願います。

当社グループは、物流システムへの設備投資や計画入荷などにより、物流の生産性向上に取り組んでおります。

その施策の一つとして、新設物流センターに「定点ピッキングシステム」の導入を開始しました。これは、従来の「人が物を取りに行く」作業を、「物を人がいるところまで運ぶ」形に変えることで、物流センター内作業の大幅な効率改善を実現するものです。今回「定点ピッキングシステム」



▲セシル・オーガニックバージンココナッツオイル
460g瓶・スティックタイプ13g×12本



を導入したセンターでは、作業員を54%削減することができました。

この他、既存物流センターでは4店舗分の商品の積み込みを同時にこなす「マルチピッキング端末」の導入拡大や、計画入荷による入荷作業の削減・平準化など、作業効率改善を積極的に進めています。

なお当社グループは2016年2月に、東海地区にある2カ所の既存物流センターを統合再編し、新たに「中京物流センター」を設置し、東海地区における物流機能を強化していきます。



通期業績の見通しと配当について お聞かせください。

前述の通り当第2四半期までの業績は、期初の計画を上回る成果を上げましたが、今後の消費動向については依然として不透明な状況にあります。そのため、通期の連

結業績については、期初の計画数値を変更せず、売上高6,400億円(前年同期比3.6%増)、営業利益34億円(同7.4%減)、経常利益43億円(同4.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益28億円(同8.5%増)の予想を継続します。

当第2四半期末の配当は、当初予定どおり売上・利益の計画を達成しましたので、1株当たり35円(1円増配)とさせていただきます。期末配当についても同35円(1円増配)とし、年間配当額同70円(合計2円増配)を計画しています。

なお、おかげさまで当社グループは、2016年2月11日をもちまして創業130周年を迎えます。記念すべき節目の年を新たなスタートラインとして、さらなる事業の発展と持続的な成長を果たすべく、新中期経営計画の策定を進めております。

株主の皆様におかれましては、当社グループ事業のさらなる発展にご期待いただき、これからも長きにわたりご支援を賜りますようお願い申し上げます。

98期連結業績予想

売 上 高	6,400億円
営 業 利 益	34億円
経 常 利 益	43億円
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	28億円

ひとに贈る・ひとに届ける

食のよろこび

事業と社会貢献活動による 私たちの取り組み

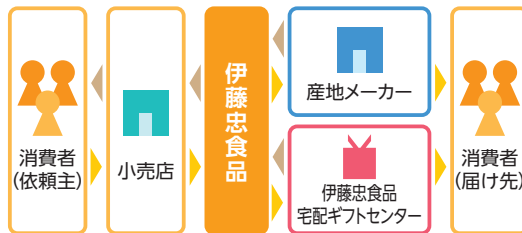
「健康で豊かな食生活創り」に向けて、当社は社会との共通価値を生み出す企業行動を実践しています。ここでは、ギフト事業の展開とフードバンク支援についてお伝えします。



強みを活かして新たなギフトの形を創出

今までにない価値を届ける「もっとユニークなギフト」へ

ギフト事業部では、ギフトセットの企画・調達・商品開発から包装・セット装製、宅配連携までを一貫したギフトのトータルソリューションを提供しています。当社ではギフト事業の拡大を重点テーマに、産地直送ギフトシステム「PARDIS」と自社オリジナルギフト商品を2本柱として小売業に提案するほか、専用ギフトの受託開発も行っています。今後は、非食品分野の商品調達力やギフトアソート機能を強化し、新たなギフトの形を生み出すことで、さらなる拡大を目指します。



「PARDIS」の流れ

新たなギフトの形



食品とキッチン雑貨をアソート

ギフトプラス

有名ブランドの食器や圧力鍋、ミキサーなどのキッチン雑貨を、食品・酒類と組み合わせたコラボレーション商品です。「父の日」「母の日」や誕生日などの記念日におけるパーソナルな贈答ニーズを想定したアソートギフト、若い世代にも好評です。



商品3点の組み合わせいろいろ

逸品重ねギフト

麺類や菓子類、飲料、レトルトカレーなど、全15点の食品の中から3点を自由に選んでいただき、3段重ねの重箱に入れてお届けするギフトセットです。贈り主が自分のセンスを活かし、受け取る相手への想いを込めたものを細かくチョイスしたいというニーズに応えます。



社会貢献と食品ロス削減の観点から 「フードバンク活動」を支援

「食」を通じた社会貢献の一環として、平成24年度よりフードバンク活動を積極的に支援しています。

平成27年度は1月に開催された当社東海展示会の出展メーカー様に協力を呼びかけてご提供いただいた商品を、「NPO法人セカンドハーベスト名古屋」へ寄贈しました。また同年7月の大阪展示会では初めて、「NPO法人フードバンク関西」へ同様の寄贈を行いました。寄贈品は、食料支援を必要とする人々に無駄なく配布されています。

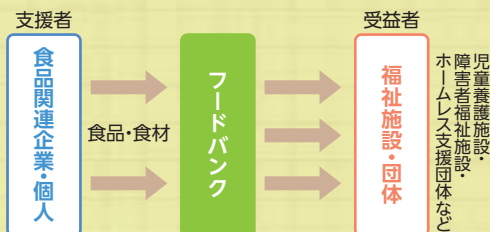
防災備蓄品なども寄贈

東京都の防災条例に基づく備蓄食糧や当社保有株式の株主優待品についても、賞味期限切れによる廃棄処分を避け、期限前にフードバンク団体への寄贈を行っています。



「フードバンク」とは？

食品の製造工程や流通段階で発生する規格外品などを、企業の協力を得て引き取り、生活困窮者や福祉施設に無料で提供する団体・活動です。



新しい取り組み

▶ 地域産品プロジェクトの発掘商品もギフトに

当社は全国各地から価値ある商品を発掘し、調達強化と販売拡大につなげていく「地域産品プロジェクト」を推進しています。発掘商品をギフトアイテムとして採用し、ユニークで魅力ある商品を充実させています。

▶ 店頭注文を簡便化するギフト受注システム

小売店からのギフト申し込みを店頭のパソコンやタブレット端末で受け付ける「ISCギフトプラスシステム」を開発しました。お客様の利便性を向上しつつ、小売店にも取引状況の確認機能を提供するなど、店舗オペレーションの改善にも寄与します。



連結決算の概要

● 連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)

売上高

328,216 百万円

(前年同期比5.0%増)

コンビニエンスストアなど組織小売業との取引増加等により、前年同期比で157億13百万円の増加となりました。

営業利益

1,557 百万円

(前年同期比4.9%増)

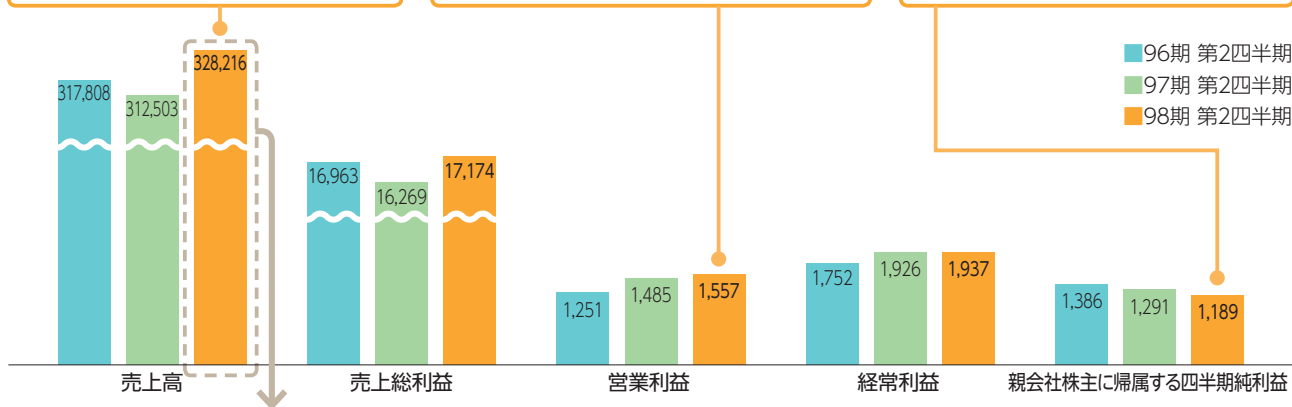
物量の増加とコストアップにより物流経費が増加したものの、売上総利益額のアップにより、前年同期比で72百万円の増加となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益

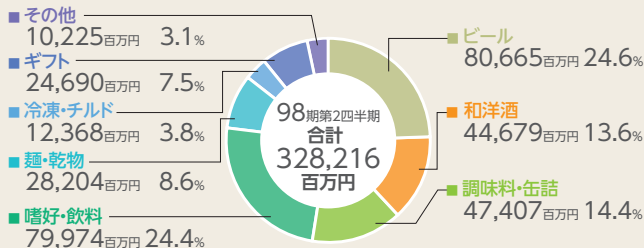
1,189 百万円

(前年同期比7.9%減)

前年に特別利益に計上した有価証券売却益がなくなったことなどにより、前年同期比で1億1百万円の減少となりました。

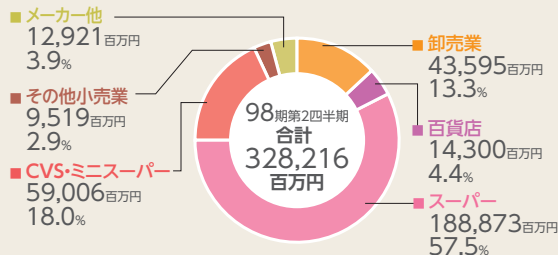


商品分類別売上高構成比

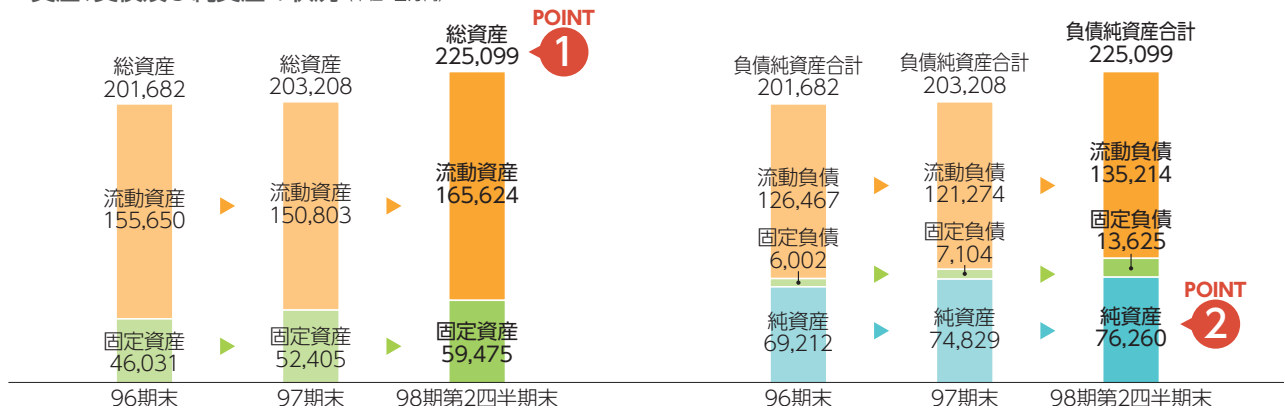


(注)「ビール」には、発泡酒、ビール風アルコール飲料(第3のビール)の売上高を含んでおります。

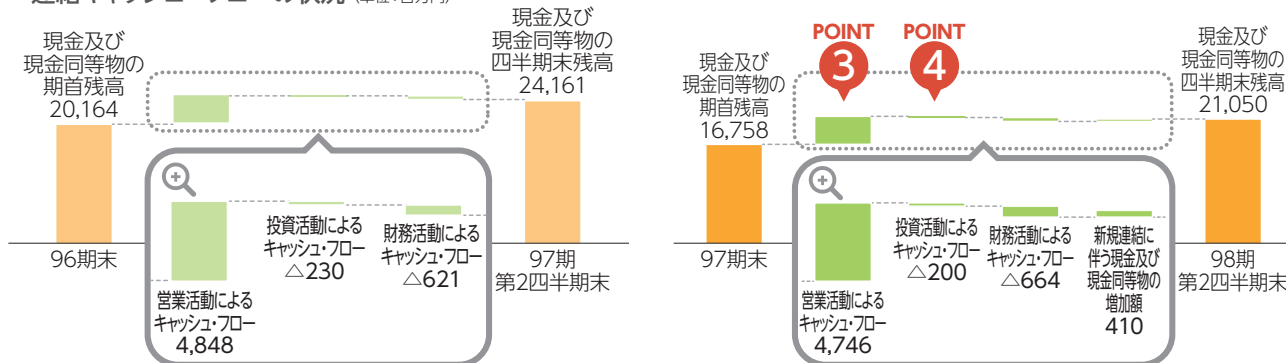
業態別売上高構成比



● 資産、負債及び純資産の状況 (単位: 百万円)



● 連結キャッシュ・フローの状況 (単位: 百万円)



POINT 1 資産は2,250億99百万円となり、前期末に比べ218億91百万円の増加となりました。これは、季節要因により売上債権、未収入金、棚卸資産がそれぞれ増加したことなどによるものであります。

POINT 2 純資産は、762億60百万円となり、前期末に比べ14億30百万円の増加となりました。これは、利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

POINT 3 営業活動によるキャッシュ・フローは、47億46百万円の収入(前年同期は48億48百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益ならびに季節要因による仕入債務の増加によるものであります。

POINT 4 投資活動によるキャッシュ・フローは、2億0百万円の支出(前年同期は2億30百万円の支出)となりました。これは主に、固定資産の取得によるものであります。

商号 伊藤忠食品株式会社
創業年月日 明治19年2月11日(1886年2月11日)
設立年月日 大正7年11月29日(1918年11月29日)
資本金 4,923,464,500円
従業員数 連結1,071名 個別734名
事業内容 酒類・食品の卸売およびそれに伴う商品の保管、運送ならびに各種商品の情報提供、商品流通に関するマーチャンダイジング等を主とした事業活動を展開。
本店所在地 大阪市中央区城見2-2-22
大阪本社
 〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22
 電話(06)6947-9811
東京本社
 〒107-8450 東京都港区元赤坂1-2-7
 電話(03)5411-8511

役員
 代表取締役・社長執行役員 星 秀一 常務執行役員 青山 裕一
 取締役・専務執行役員 松本 耕一 常務執行役員 久野 耕佐
 取締役・専務執行役員 阿部 淳一 執行役員 酒井 健雄
 取締役・専務執行役員 大釜 賢一 執行役員 鈴木 昌
 取締役・常務執行役員 三浦 浩一 執行役員 松本 正幹
 取締役(非常勤) 川村 博 執行役員 河原 光男
 取締役(非常勤) 高垣 晴雄 執行役員 讃岐 博行
 常勤監査役 姫野 彰 執行役員 魚住 直之
 監査役(非常勤) 増岡 研介
 監査役(非常勤) 桜木 正人
 監査役(非常勤) 川村 篤生

子会社・関連会社

■ 連結子会社 ■ 非連結子会社 ■ 関連会社

卸売業 / ■ (株)中部メイカン ■ (株)スハラ食品
 小売業 / ■ (株)宝来商店

物流管理・運送業 / ■ 新日本流通サービス(株)
 サービス業 / ■ ISC ビジネスサポート(株) ■ (株)アイ・エム・シー
 食品マーケティング業 / ■ (株)UpTable

株主メモ

STOCKHOLDER MEMO

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

**特別口座の
口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

(電話照会先)

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

公告方法

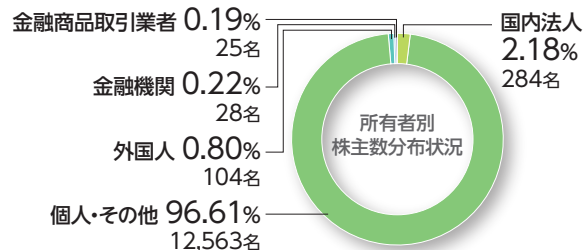
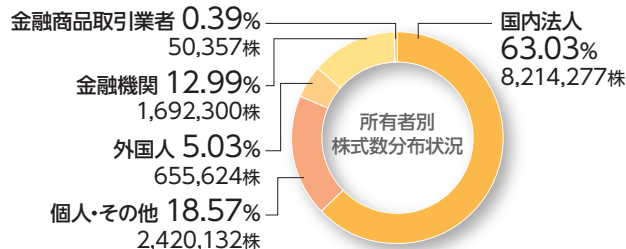
電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

* 公告掲載の当社ホームページアドレス
<http://www.itochu-shokuhin.com/>

単元株式数 100株

証券コード 2692

発行可能株式総数 40,000,000株
 発行済株式の総数 13,032,690株
 株主数 13,004名



大株主

株主名	所有株式数(株)	所有株式数比率(%)
伊藤忠商事(株)	6,620,316	50.79
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (三井住友信託銀行再信託分・アサヒビール(株)退職給付信託口)	815,000	6.25
味の素(株)	339,129	2.60
松下 善四郎	302,000	2.31
アサヒビール(株)	296,500	2.27
みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)	249,300	1.91
伊藤忠食品(株) 従業員持株会	160,200	1.22
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	113,500	0.87
日本マスタートラスト信託銀行(株)	92,800	0.71
はごろもフーズ(株)	87,100	0.66

(注) 1 上記のほか、自己株式が194,980株あります。

- 2 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(三井住友信託銀行再信託分・アサヒビール(株)退職給付信託口)の所有株式は、アサヒビール(株)が所有していた当社株式を三井住友信託銀行(株)に信託したものが、日本トラスティ・サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権はアサヒビール(株)に留保されております。
- 3 みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)の所有株式は、(株)みずほ銀行が所有していた当社株式をみずほ信託銀行(株)に信託したものが、資産管理サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権は(株)みずほ銀行に留保されております。

ご案内

INFORMATION

住所変更、 単元未満株式の 買取等のお申出先	証券会社に口座のある株主様 ▶ 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 証券会社に口座がないため 特別口座を開設されました株主様 ▶ 特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
「配当金のお支払い」 について	配当金領収証にてお受取りの 株主様 ▶ 「支払通知書」に替えて「配当金計算書」を同封いたしております。 口座振込を指定されている株主様 ▶ 配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。
「配当金計算書」について ※確定申告をなされる株主様は大切に保管してください。	配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。
未払配当金の支払いのお申出先	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主優待のご案内

3,000円相当

Choice de Choice

[ちいすでちあイス]

厳選された約50種類の商品からお好きな商品をお選びいただけるギフトです。

当社では、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された単元株式数(100株)以上保有の株主様1名につき1口、当社オリジナルギフト商品をご賞味いただける株主優待を行っております。

優待のカタログの発送は6月を予定しております。

※カタログ掲載商品は変更となる場合があります。

「商業高校フードグランプリ」
出場商品も優待に!!

佐賀県立唐津
商業高等学校
松ゆらる 美味eat



岡山県立岡山東商業高等学校
ももたろうとまと
ぼんず・ソースセット

大山ハム
伝統の逸品詰合せ



かね七
お手軽煮魚セット



五島軒 デミグラス
ビーフハンバーグセット



北海道トンデンファーム
セット

銘柄米詰合せ



酒悦 酒寿瓶詰合せ



福岡産 あまおう苺ソルベ



紀州産南高梅
くずれ梅
(はちみつ味)

Choice de Choice が届くまで

1 12月

中間報告書(本紙)ご送付
※中間期は、株主優待を実施
していません。

2 3月末

株主優待権利確定

3 6月下旬頃

株主総会后、決議通知に優
待のカタログとハガキを同
封じご郵送いたします。

4 9月30日までに
ご投函ください。

カタログより優待商品をお
選びいただき、ハガキを返信
していただきます。

5 お届け

お選びいただいた優待商品
がお手元に届きます。

ISC 伊藤忠食品株式会社

■ 大阪本社 〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22 電話 (06)6947-9811

■ 東京本社 〒107-8450 東京都港区元赤坂1-2-7 電話 (03)5411-8511

■ インターネットホームページURL <http://www.itochu-shokuhin.com/>

UD
FONT



本報告書は、環境保全のため、FSC®認証紙を使用して
植物油インクで印刷しています。